

「課題名：高齢者の運動器機能、転倒リスクと足部・足関節疾患の関連」について

○ 研究の意義・目的

現在、運動器症候群(ロコモティブシンドローム)と変形性膝関節症、変形性腰椎症、骨粗鬆症には深い関係があることが明らかになっていますが、足部・足関節疾患との関連についてはまだ解明されていません。今回、足部・足関節疾患と運動器症候群の関連を経時的に調査して、転倒および骨脆弱性骨折の危険因子を明らかにするため、この研究を計画しました。

○ 研究対象者

2020年4月から 2025年3月までに、広島大学病院整形外科で足部・足関節疾患に対する治療を受けられた60歳以上の患者さんを対象とします。

○ 研究方法

本研究は、全て診療録（カルテ）情報を転記して行います。

カルテから転記する内容は年齢、性別、既往歴、臨床スコア、身体所見、画像所見、治療経過等です。（個人が特定出来る情報は転記しません）

以下の機関と共同で研究します。（広島大学に情報を集め広島大学（研究責任者 安達伸生）が解析します。）

- ・広島共立病院、広島鉄道病院、安芸太田病院、吉田総合病院
三次中央病院、中電病院、マツダ病院、安佐市民病院

○ 試料・情報の管理責任者

広島大学 教授 安達伸生

○ 研究期間 2020年4月1日（委員会承認後）～ 2025年12月31日

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

*研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞1-2-3

Te 1 : 082-257-5470

広島大学病院整形外科 教授 安達 伸生（研究責任者）

助教 生田 祥也（担当者）